

第67回 四国高等学校ソフトテニス選手権大会

競技上の注意（団体戦）

- 1 競技は平成29年度日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに基づいて行う。
プレーはフェアプレーを旨とし、マッチの始めと終わりは相手をたたえ、握手をする。
- 2 3組対抗の点取り法とする。試合はすべてトーナメント、各マッチは7ゲームマッチとする。試合ごとに出場選手及び出場順序を変更してよい。1回戦は片方のチームが2点先取しても3番目のマッチは行う。
2回戦（準々決勝）以降は2点先取とし、2面展開の場合は勝敗が決定次第、進行中のマッチの順番に関係なく打ち切る。
- 3 到着受付は8:00～8:30に大会本部（運営棟2F）にて行う。
選手変更・監督変更は、到着受付時まで当該県委員長を通して口頭で変更できる。
1回戦のオーダー（監督会議にて配布）は、到着受付時に本部に提出する。2回戦（準々決勝）以降のオーダーについては、対戦相手が決まり次第、5分以内に提出すること。
準々決勝以降は、原則、対戦相手が決まり次第10分後に試合を開始する。
- 4 コート割、および進行は予定通りとするが、進行状態、天候その他やむを得ない事情で変更することがある。
進行状況によっては2面・3面展開も有り得る。
- 5 ベンチは、オーダー提出時に監督が本部役員立ち会いの下、運営棟1F南側において決定する。ベンチの決定についてはジャンケンの勝者が選択する。2回戦からはコートの性質上3～16コートまではベンチを横にする。使用ボールは男子アカエム、女子ケンコーとする。
サービス（レシーブ）とサイドの決定は、マッチごとに行う。マッチ開始前の練習は1分以内とする。
- 6 対戦中、監督・控え選手は所定の位置（ベンチ）で待機すること（私有の椅子の持ち込みは禁止する）。アンパイアに対して異議の申し立て、または結果を不服として故意にプレーを中断することは禁止する。
コート内での傘の使用は、プレーに支障のない限り認める。（黒色を基準とし、反射するものや蛍光色のものは認めない。）
助言はサイドチェンジ・ファイナルゲーム前のみ、許される時間内(1分間)で行うことを遵守すること。
- 7 チームの部旗・応援旗はコートサイド側フェンスのみに取り付けることを許可する。
各学校のプライベートテントは通行の妨げにならないよう、12～16コート北側の土の上に限り張っても良い。
練習は指定されたコート・時間のみで行い、それ以外はボールを使った練習は禁止する。
- 8 審判はすべて地元審判員で行う（副審については地元高校生が行う場合もある）。
- 9 ユニフォーム・テニスシューズ・ラケットは、日本ソフトテニス連盟が公認したものをを使用すること。
ゼッケンは日本ソフトテニス連盟が認めたもの（県名・姓苗字のみ・学校名最後に必ず高校を入れることの3段）とする。
<競技中の服装について（補足）>
ハーフパンツのプリント（刺繍）について
場所は前面、裾とし、校名・校章のみの標記とする。大きさは、10cm×15cm以内とする。
ゲームシャツの襟・裾について
ゲーム中、襟を立てたり、裾を出した状態での着用は禁止する。但し、襟を立てたり、裾を出して着るデザインとして作られているものについてはその限りではない。
長袖のアンダーシャツについて
着用を認める。ただし、単色であること。ロングスパッツ、ロングパンツなどハーフパンツから出るものは認めない。各部位を覆うサポーターは認めるが、着圧ソックスは認めない。
- 10 熱中症対策は各学校・各個人で行う。盗難・盗撮には十分気を付ける。

第67回 四国高等学校ソフトテニス選手権大会

競技上の注意（個人戦）

- 1 競技は平成29年度日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに基づいて行う。
プレーはフェアプレーを旨とし、マッチの始めと終わりは相手をたたえ、握手をする。
- 2 試合はすべてトーナメント、各マッチは7ゲームマッチとする。
- 3 到着受付は8:00～8:30に大会本部（運営棟2F）にて行う。
選手変更・ベンチ入り指導者変更は、到着受付時までに当該県委員長を通して口頭で変更できる。
- 4 コート割、および進行は予定通りとするが、進行状態、天候その他やむを得ない事情で変更することがある。
- 5 ベンチは、番号の小さいペアを北側とする。使用ボールは男子アカエム、女子ケンコーとする。
サービス（レシーブ）とサイドの決定は、マッチごとに行う。マッチ開始前の練習は1分以内とする。
- 6 対戦中、プレーヤー以外にベンチ入り指導者1名がコート内所定の位置（ベンチ）に入ることを認める（私有の椅子の持ち込みは禁止する）。ベンチ入り指導者の服装は選手に準じた格好とする。
アンパイアに対しての質問はそのマッチのプレーヤーのみ許されており、ベンチ入り指導者がアンパイアへ質問することはできない。
ベンチ入り指導者はやむを得ない場合を除き、マッチ中に一度ベンチを離れたら、そのマッチのベンチに戻ることはできない。なお、マッチ中のベンチ入り指導者の交代は認めない。
コート内での傘の使用は、プレーに支障のない限り認める。（黒色を基準とし、反射するものや蛍光色のものは認めない。）
助言はサイドチェンジ・ファイナルゲーム前のみ、許される時間内(1分間)で行うことを遵守すること。
- 7 チームの部旗・応援旗はコートサイド側フェンスのみに取り付けることを許可する。
各学校のプライベートテントは通行の妨げにならないよう、12～16コート北側の土の上に限り張っても良い。
練習は指定されたコート・時間のみで行い、それ以外はボールを使った練習は禁止する。
- 8 1回戦及び準々決勝以降の審判はすべて地元審判員で行う（副審については地元高校生が行う場合もある）。それ以外は敗者審判とする。
- 9 ユニフォーム・テニスシューズ・ラケットは、日本ソフトテニス連盟が公認したものを使用すること。
ゼッケンは日本ソフトテニス連盟が認めたもの（県名・姓苗字のみ・学校名最後に必ず高校を入れることの3段）とする。
<競技中の服装について（補足）>
ハーフパンツのプリント（刺繍）について
場所は前面、裾とし、校名・校章のみの標記とする。大きさは、10cm×15cm以内とする。
ゲームシャツの襟・裾について
ゲーム中、襟を立てたり、裾を出した状態での着用は禁止する。但し、襟を立てたり、裾を出して着るデザインとして作られているものについてはその限りではない。
長袖のアンダーシャツについて
着用を認める。ただし、単色であること。ロングスパッツ、ロングパンツなどハーフパンツから出るものは認めない。各部位を覆うサポーターは認めるが、着圧ソックスは認めない。
- 10 熱中症対策は各学校・各個人で行う。盗難・盗撮には十分気を付ける。